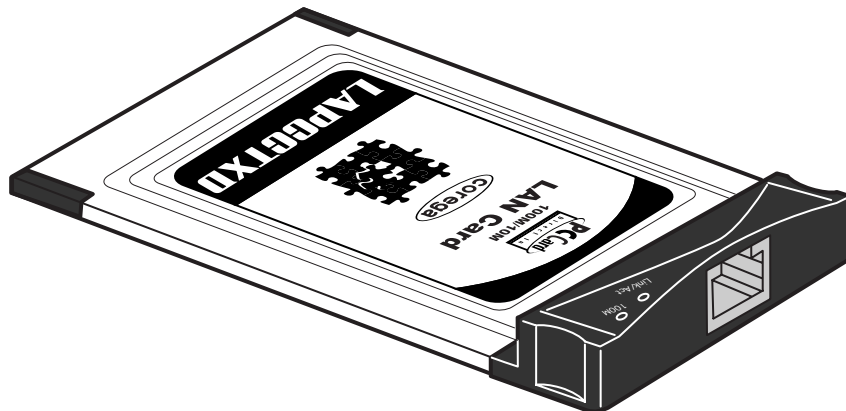
CG-LAPCCTXD

詳細マニュアル

Windows XP 編

PN Y613-04664-01 Rev.A

1. Windows XPへのインストール

本製品のドライバをWindows XPにインストールする手順を説明いたします。ここでご紹介する手順は、ネットワークアダプタ用ドライバを含む、ネットワーク環境がまったく構成されていない状態を前提としておりますので、予めご了承ください。

以下の手順は一例です。お客様の環境によっては、画面表示や手順が若干異なることがあります。また、本書ではDOS/V、PC98-NXへのインストールを例にして説明します。

1-1 用意するもの

・本製品
・LANケーブル
・本製品のユーティリティディスク（CD-ROM）
・PCカードスロットを装備しているパソコン（Windows XPインストール済み）

1-2 アップデートインストール

Windows 2000/Me/98SEからWindows XPへのアップデートをする場合は、本製品をパソコンのPCカードスロットから取り外した状態で実行してください。アップデートが完了すると、Windows XPは本製品のドライバがインストールされていない状態となります。

1-3 ドライバの新規インストール

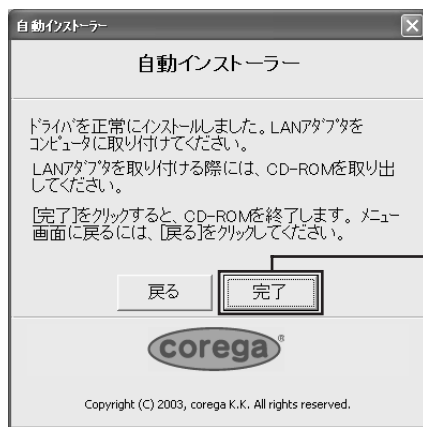
1 本製品をパソコンのPCカードスロットに取り付けていない状態で、パソコンの電源をオンにし、Windows XPが起動したら「コンピュータの管理者」権限があるユーザ名でログオンしてください。

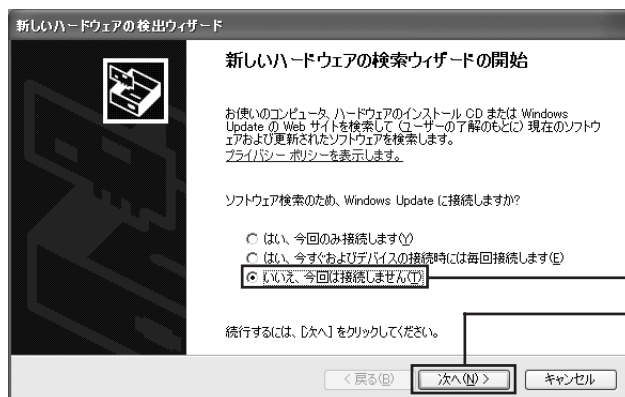
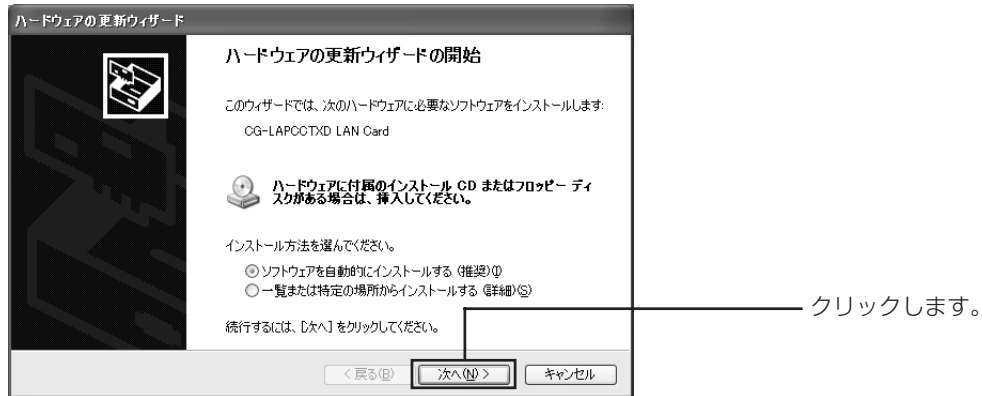
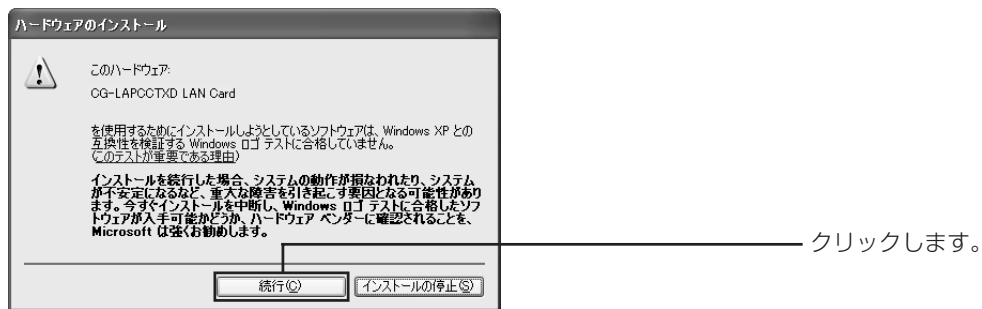
・Windows XPでは、「コンピュータの管理者」の権限がないと、デバイスドライバの更新や削除、ネットワーク設定といったシステムレベルの作業ができません
・ログオン画面が表示されずに起動したときは、一旦ログオフし、「コンピュータの管理者」権限のユーザ名で再ログオンしてください

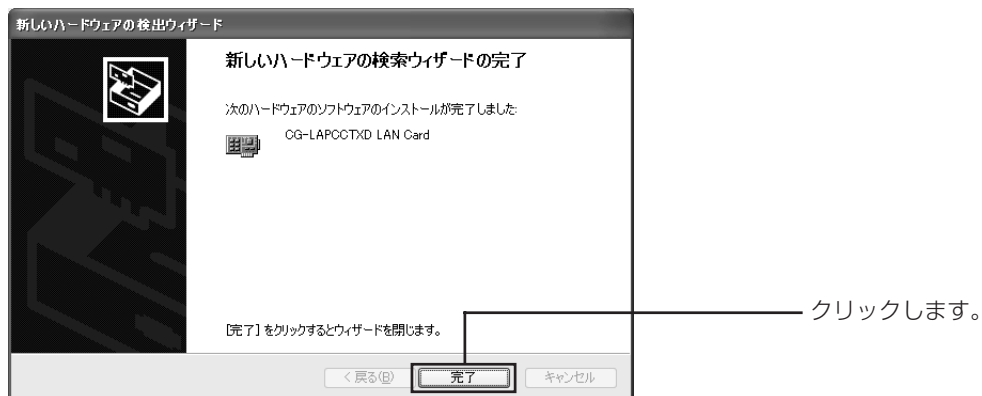
2 パソコンのCD-ROMドライブに本製品のユーティリティディスクを入れます。

3 自動的に次のような画面が表示されます。表示されない場合は「マイコンピュータ」－「CD-ROMアイコン」の順にダブルクリックしてください。

「インストール」をクリックします。

4　「続行」をクリックします。

5　「完了」をクリックします。

6　ユーティリティディスクを取り出し、本製品をパソコンのPCカードスロットに挿し込みます。Windows XP SP2をお使いの場合、下記の画面が表示されますが「いいえ、今回は接続しません」を選択し、「次へ」をクリックします。

7 「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されるので、「次へ」をクリックしてください。

8 次のような画面が表示されますが、「続行」をクリックしてください。

注意 本製品は弊社で Windows XP での動作を確認しています。

9 「新しいハードウェアの検出ウィザードの完了」画面が表示されるので、「完了」をクリックします。

10 以上でドライバのインストールは完了です。引き続きインストールの確認にお進みください。

Windows XP では、ドライバインストール終了後に再起動をする必要はありませんが、お客様のご使用環境によっては再起動を求められることがあります。

1-4 インストールの確認

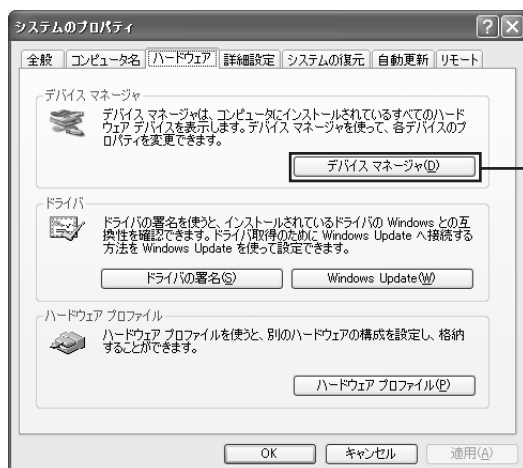
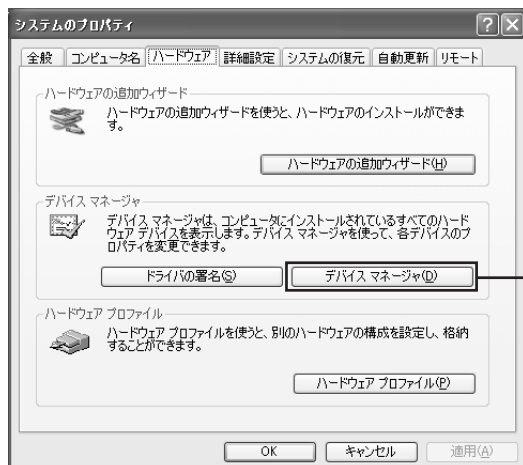
インストール完了後、ドライバが正しくインストールされていることを確認します。

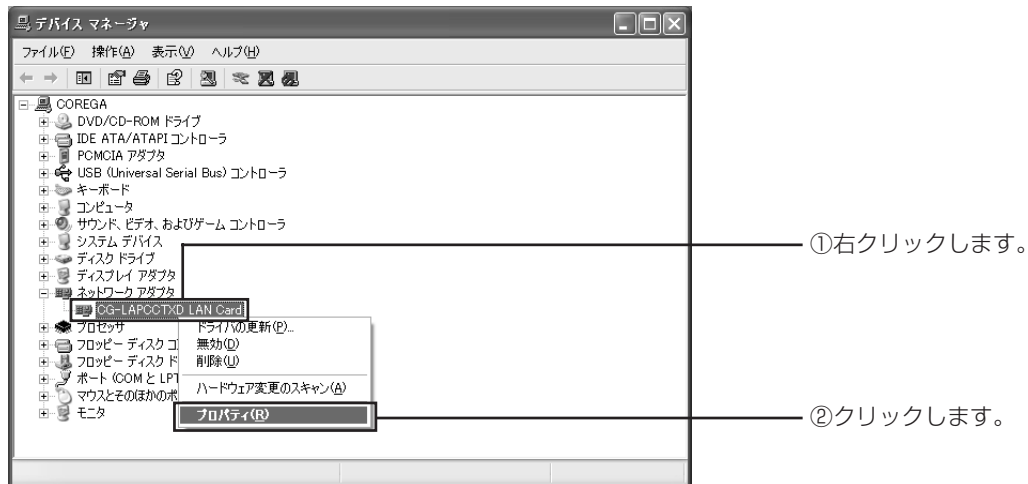
●デバイスマネージャによるインストールの確認

1 「スタート」－「コントロールパネル」をクリックします。

2 「コントロールパネル」が表示されたら、画面左側の「クラシック表示に切り替える」をクリックし、「システム」をダブルクリックします。

このページ以降、「コントロールパネル」の表示は、特別に記述していない限り「クラシック表示」を使用しているものとして説明します。

3 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックします。

※Windows XP SP2の画面

※Windows XP SP1の画面

4　「ネットワークアダプタ」アイコンの左の「+」をクリックして「CG-LAPCCTXD」を表示させた後、「CG-LAPCCTXD」を右クリックし、「プロパティ」をクリックしてください。

本製品のアイコンに「×」「？」「！」などのマークが付いていたり、アイコンが「ネットワークアダプタ」の下ではなく、「不明なデバイス」や「その他のデバイス」の下にあるときは、インストールに失敗しています。詳しくは「トラブル解決Q&A」の「ドライバのインストール」をご覧ください。

5　「デバイスの状態」欄に「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることを確認してください。

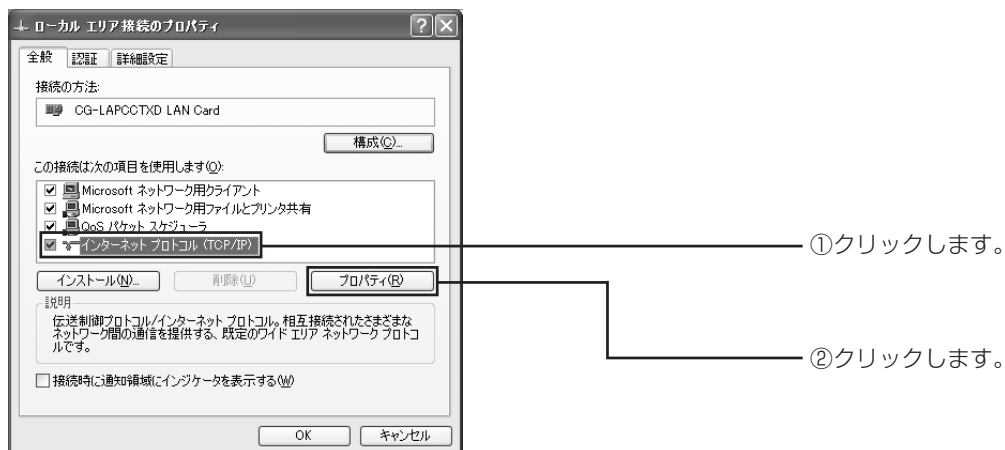
6　以上でインストールの確認作業は完了です。

●ネットワークの設定

お使いのネットワークに関する設定を行います。

1 「スタート」－「コントロールパネル」－「ネットワーク接続」をダブルクリックしてください。

2 「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」をクリックしてください。

3 「インターネットプロトコル（TCP/IP)」をクリックして、「プロパティ」をクリックします。

4 TCP/IPの設定をお使いのネットワークにあわせて行います。設定が終了したら「OK」をクリックします（画面は一例です）。

5 手順3の「ローカルエリア接続のプロパティ」画面に戻りますので、の「OK」をクリックして設定を終了します。

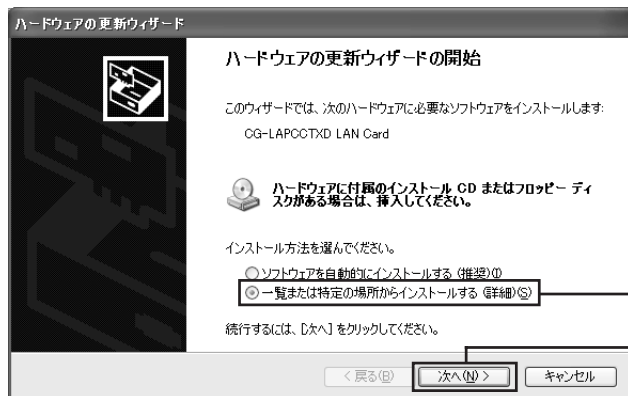
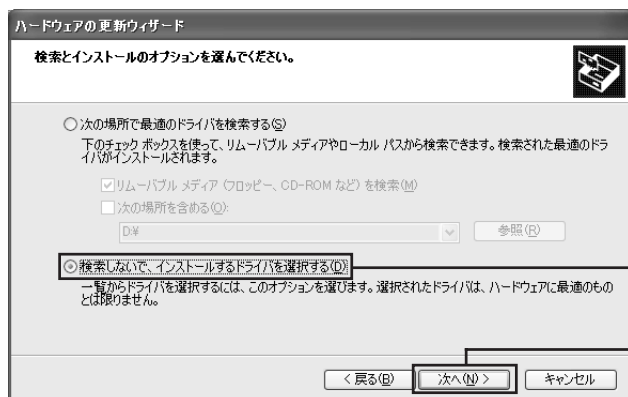
1-5 ドライバの更新

弊社のWebページ（http://www.corega.co.jp/）などから最新のドライバを入手したときは、下記の手順に従ってドライバを更新してください。

1 「コンピュータの管理者」権限でログオンしてください。

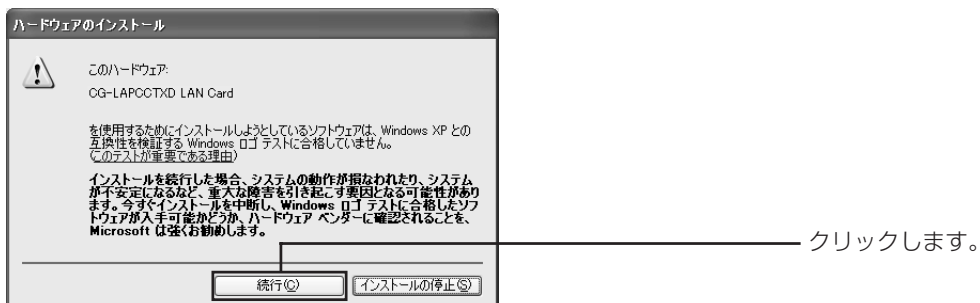
2 「デバイスマネージャ」で「CG-LAPCCTXD」をダブルクリックします（「デバイスマネージャ」の表示方法はP.5をご覧ください）。

3 「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」をクリックします。

4 「一覧または特定の場所からインストールする」を選択して「次へ」をクリックします。

5 「検索しないで、インストールするドライバを選択する」を選択し、「次へ」をクリックします。

6　「ディスク使用」をクリックします。

7　「参照」をクリックし、最新のドライバが保存されているフォルダを指定した後、「OK」をクリックします（この例では入手したドライバが「C:¥COREGA¥LAPCCTXD¥WXP」に保存されていると仮定しています）。

8　手順６の画面に戻りますので、「次へ」をクリックします。

9　次のようなメッセージボックスが表示された場合は、「続行」をクリックしてください。

注意　**本製品は弊社で Windows XP での動作を確認しています。**

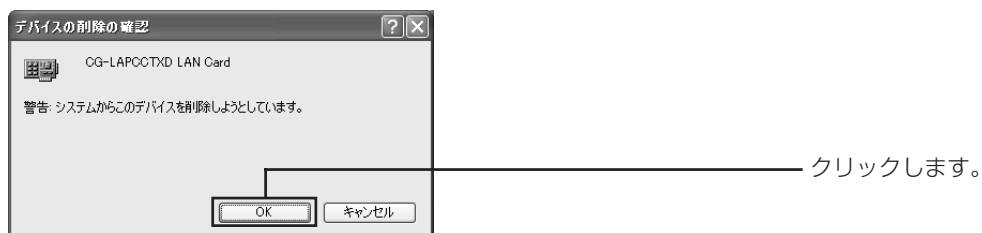
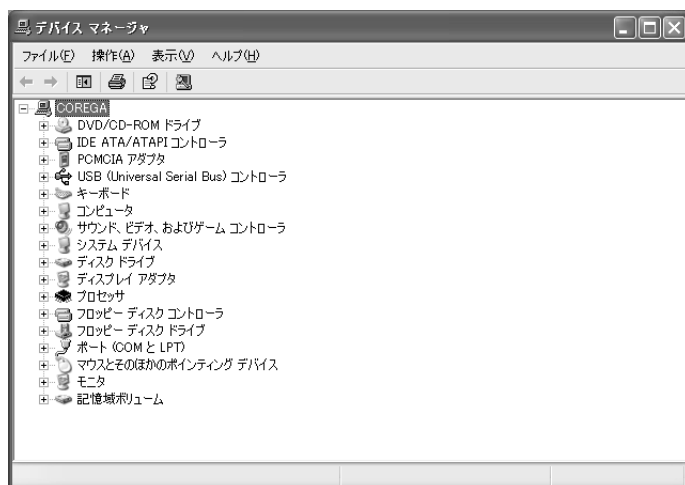
10「完了」をクリックすると、ドライバの更新は終了です。

1-6 ドライバの削除

ドライバを削除する時に本製品が取り外されている場合、本製品を一度 PC カードスロットに挿入し、手順にしたがってドライバを削除してください。

1　「コンピュータの管理者」権限でログオンします。

2　「デバイスマネージャ」で「CG-LAPCCTXD」を右クリックして、「削除」を選択します（「デバイスマネージャ」の表示方法は P.5 をご覧ください）。

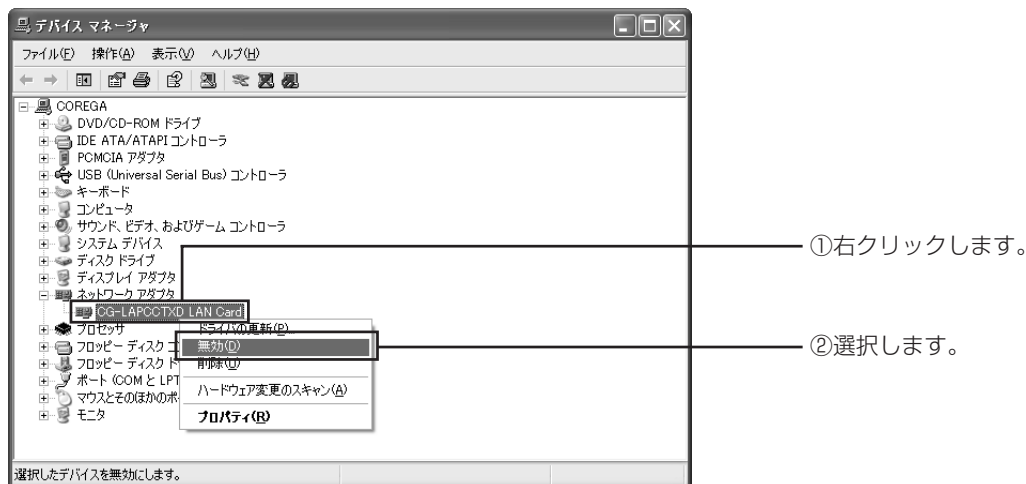
3　「デバイス削除の確認」画面が表示されるので、「OK」をクリックします。

4　デバイスマネージャで本製品のアイコンが消えていることを確認してください。

5　Windows XPをシャットダウンし、パソコンの電源をオフにして、パソコンのイジェクトバーを押して本製品を取り外します。

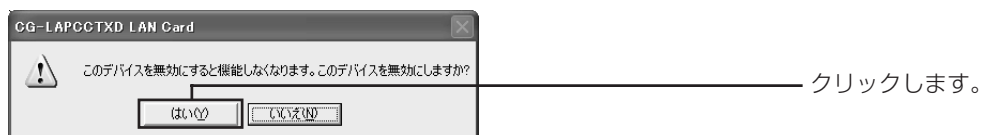
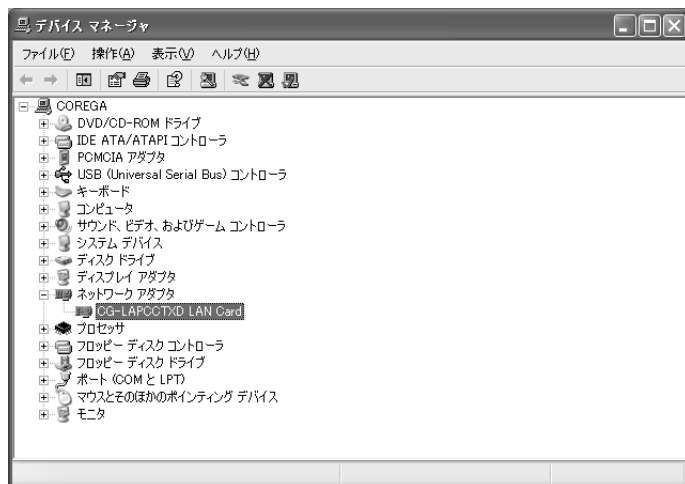
6　以上でドライバの削除の手続きは終了です。

1-7 本製品を一時的に使用しないとき

ドライバのインストール後、一時的に本製品を使用しないとき（たとえばLANケーブルを本製品からはずしているような場合）は、下記の手順にしたがって本製品のドライバを無効にしてください（ドライバ有効なままにしておくと、Windows XPはこれらをネットワークエラーとみなしてシステムログに記録します。ログは「イベントビューア」などから閲覧可能です）。

1 「コンピュータの管理者」権限でログオンします。

2 「デバイスマネージャ」で「CG-LAPCCTXD」を右クリックして、「無効」を選択します（「デバイスマネージャ」の表示方法は P.5 をご覧ください）。

メモ ローカルエリア接続アイコンを右クリックし、「無効にする」を選択しても同じ結果になります。

3 ダイアログボックスが表示されるので、「はい」をクリックします。

4 「CG-LAPCCTXD」のアイコンに「×」が付き、ドライバの動作が停止します。

メモ ドライバの動作停止時（無効にした場合）は、「ローカルエリア接続」が灰色表示になります。

5　本製品の使用を再開するときは、「デバイスマネージャ」で「CG-LAPCCTXD」を右クリックし、「有効」を選択してください。「×」が消え、ドライバは動作を再開します。

1-8 ドライバの再インストール

ドライバの再インストールを行うときは、ドライバを一旦削除してから行います。ドライバのインストールに失敗したときも、インストールされたドライバを削除してから再インストールを行います。ドライバの再インストールする手順は以下の通りです。

1　「1-6　ドライバの削除」（P.10）の手順にしたがい、本製品のドライバを削除します。

2　「1-3　ドライバの新規インストール」（P.2）の手順にしたがい、本製品のドライバをインストールします。

1-9 ドライバのロールバック

ドライバの更新などで本製品が正常に動作しなくなってしまった場合、Windows XPの機能により、更新前に使用していたドライバに戻すことができます。

1 「デバイスマネージャ」ウィンドウで「CG-LAPCCTXD」を右クリックして、「プロパティ」をクリックしてください。

2 「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバのロールバック」ボタンをクリックしてください。

3 ダイアログボックスが表示されるので、「はい」をクリックします。

4 次のようなメッセージボックスが表示された場合は、「続行」をクリックしてください。

2. 設置・接続

- 本製品に触れる前に、あらかじめ他の金属部分（水道の蛇口、ドアノブ等）に触れて体内の静電気を放電してください。この時、ガス管など発火する危険性のあるものには、絶対に触れないようにしてください。
- 本製品の内部には、最新のIC類が使用されています。ご使用中の静電気による故障対策はされていますが、他の機器との接続時などには、特に注意してください。お客様の不注意により生じた静電気等による故障等につきましては、保証の対象外となりますのであらかじめご了承ください。
- 雷が発生しているとき、本製品やケーブルの設置などの作業を行わないでください。落雷により感電する恐れがあります。
- スタンバイ状態への移行時、復帰状態への移行時に本製品やLANケーブルの抜き差しを行わないでください。また、スタンバイ状態からの復帰時、パソコンへの機種によっては、本製品が正常に動作しないものがあります。スタンバイ状態への移行時や、スタンバイ状態からの復帰時の不具合つきましては、サポート対象外とさせていただきます。

2-1 PCカードの挿入・取り外し

Windows XPでは、パソコンの電源をオンにしたままカードの抜き差しを行うことができますが、その際にいくつかの注意点があります。PCカードの挿入・取り外しを行うときは、必ず下記の手順にしたがって作業を進めてください。

パソコンの機種によっては、イジェクトバーなどがPCカードの挿入・取り外し操作に干渉することがありますのでご注意ください。

●PCカードの挿入

1 「corega」のロゴが印刷された面を上にして、本製品をパソコンのPCカードスロットに挿入し、「カチッ」と手応えがあるまで押し込んでください。

パソコン機種によっては、下に向けて装着するものもあります。間違って装着すると、本製品やご使用のパソコンの故障の原因になります。PCカード装着に関しては、必ずご使用のパソコンの取扱説明書をご覧ください。

2 本製品をPCカードスロットに挿入すると、Windows XPはプラグアンドプレイ機能により本製品を自動的に検出します。

本製品用のドライバのインストールをまだ行っていないとき（初めて本製品を挿入したとき）は、ドライバのインストールが開始されます。ドライバのインストールについては「1-3　ドライバの新規インストール」（P.2）をご覧ください。

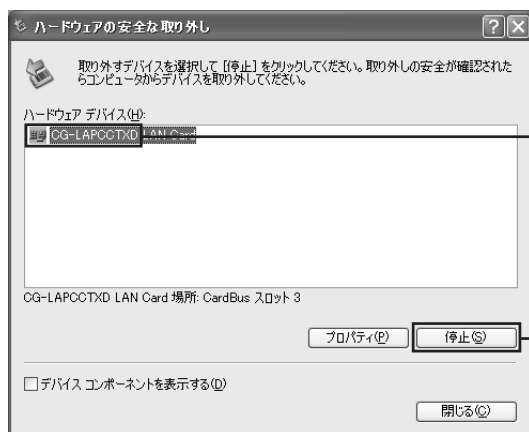
●PCカードの取り外し

Windows XPでは、パソコンの電源をオンにした状態で本製品をPCカードスロットから取り外すことができますが、パソコンの電源がオンの状態で本製品を取り外すときは、必ず以下の手順で行ってください。

以下の手順を守らなかったときは、パソコンのハングアップやファイルの破壊を招く恐れがあります。また、以下の手順をお守りいただかないで起こった障害に関してはユーザサポートの対象外とさせていただきます。

1　ネットワークと通信を行っているアプリケーション（Webブラウザやメールソフトなど）を全て終了してください。「ネットワークドライブの割り当て」を行っている場合は、全て切断してください。

2　タスクトレイ（通知領域）の「ハードウェアの取り外しまたは取り出し」アイコンをダブルクリックします。

3　「CG-LAPCCTXD」を選択し、「停止」をクリックします。

4　「OK」をクリックします。

5　手順３の画面に戻りますので、「閉じる」をクリックします。

6　パソコンのイジェクトバーを押してください。本製品がPCカードスロットから外れ、手で取り出せる状態になります。

2-2 LANへの接続

雷が発生しているときは、本製品やケーブルの設置などの作業を行わないでください。落雷により感電する恐れがあります。

1 LAN ケーブルの一方の端に付いたプラグを、本製品の RJ-45 モジュラージャックに「カチッ」と音がするまで差し込みます。差し込む際にはLANケーブルの両端のプラグのどちらを差し込んでもかまいません。

LAN ケーブル（UTP ケーブル：シールドなしツイストペアケーブル）はエンハンスド・カテゴリ 5 以上のものをおすすめいたします。

2 LAN ケーブルを引っ張って、抜けないことを確認します。

3 LAN ケーブルのもう一方のプラグをハブ（またはスイッチ）のモジュラージャックに差し込みます。手順は上記の手順 1 および手順 2 と同様です。

接続した対向機器（ハブまたはスイッチ）との状態が正常であれば、本製品（CG-LAPCCTXD）側は Link/Act LED が点灯（緑）します（データを送受信すると点滅（緑）になります）。なお、Link/Act LED が点灯しないときは、「トラブル解決 Q&A」の「ネットワークのトラブル」をご覧いただき、ご使用の LAN ケーブルや接続先機器を再度ご確認ください。

●LANケーブルの外し方

プラグのツメを指で押さえながら手前に引くと、プラグを抜くことができます。

おことわり

・本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
・予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
・改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
・本製品の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

©2005 株式会社コレガ
coregaは、株式会社コレガの登録商標です。
Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカの商標または登録商標です。

2005年1月　初版